

# お知らせ

INFORMATION

No.2017-33

2017年10月

病体生理研究所

## 「微生物検査」の報告内容の変更について

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は当研究所をご利用頂きまして誠に有り難うございます。

この度、CLSI (Clinical and Laboratory Standards Institute: 臨床・検査標準協会) の薬剤判定基準 (M100-S26) に対応可能な同定感受性パネルの発売に伴い「薬剤感受性基本セット(微量液体希釈法: MIC)」の変更を行う事といたしました。セット薬剤の選択につきましては「JAID/JSC感染症治療ガイドライン2014」(日本感染症学会、日本化学療法学会の共同編集)に準拠いたしました。

また、これまで属名(sp)にてご報告しておりました一部の菌について種名までの報告をさせていただきます。

何卒、ご了解賜りますようご案内申し上げます。

敬具

記

### 【薬剤感受性基本セット (MIC法)の変更について】 (検査案内: P. 96)

#### ◆ 薬剤感受性基本セット (MIC法) の薬剤変更

変更対象菌種別セット名称	新規採用薬剤	セット削除薬剤
ブドウ糖非発酵菌(緑膿菌以外)	ST (スルファ合剤)	PIPC/TAZ (ピペラシリン/タゾバクタム)
G陰性桿菌(腸内細菌)	ABPC/SBT (アンピシリン/スルバクタム) CTRX (セフトリアキソン) MEPM (メロペネム)	CAZ (セフトジジム) GM (ゲンタマイシン) IPM (イムペネム)
MRSA	DAP (ダプトマイシン)	ABK (アルバカン)
ヘモフィルス	MINO (ミノサイクリン)	TC (テトラサイクリン)

#### ※ 新規採用パネルの特徴点

- ◎ブドウ糖非発酵菌(緑膿菌以外)セット測定用パネルのIPMの成分が改良され、*Acinetobacter* spp. のMIC値とカテゴリー (SIR) 報告が可能となりました。
- ◎グラム陽性球菌に対するVCMの低濃度 (1  $\mu$ g/mL以下) 報告が可能となりました。

● 「新薬剤感受性基本セット一覧(微量液体希釈法)」 検査案内 : P. 96

【薬剤感受性基本セット一覧(微量液体希釈法)】

薬剤系統	薬剤				緑膿菌	ブドウ糖非発酵菌 (緑膿菌以外) ※	G陰性桿菌 (腸内細菌) ※	G陽性球菌 (ブドウ球菌) ※	MRSA ※★	腸球菌	連鎖球菌 肺炎球菌	ヘモフィルス ※
	測定薬剤	薬剤名称	経口	注射								
ペニシリン系	PCG	ペニシリン	*	*				●	○	●	●	
	ABPG	アンピシリン	*	*	○	○	●	●	○	●	●	●
	MPIPC	オキサシリン						○	○	○		
	PIPC	ピペラシリン		*	●	●	●					
	AMPG/CVA	アモキシシリン/クラヴァン酸	*					○	○	○	○	●
	ABPG/SBT	アンピシリン/スルバクタム		*	○	○	●	○	○	○		○
	PIPC/TAZ	ピペラシリン/タゾバクタム		*	●	○	●					
セフェム系	CEZ	セファゾリン		*	○	○	●	●	○	○		
	GGL	セファクロル	*		○	○	○					●
	CMZ	セフメザール		*	○	○	●	○	○	○		
	CTM	セフトチアム		*	○	○	○	○	○	○	○	●
	GDTR	セフトレム	*								○	○
	FMOX	フロモキシセフ		*				○	○	○		
	LMOX	ラモキシセフ		*	○	○	○					
	GAZ	セフトジシム		*	●	●	○					
	CTRX	セフトリアキソン		*	○	○	●				●	●
	CTX	セフトキシム		*							○	○
	CFPM	セフトピム		*	●	○	○	○	○	○	●	○
	CZOP	セフトゾフラン		*							○	
	CPZ/SBT	セフトパザン/スルバクタム		*				○	○	○		
モノバクタム系	AZT	アズトレオナム		*	●	○	○					
カルバペネム系	IPM	イミペネム		*	●	●	○	●	○	●		
	MEPM	メロペネム		*	●	●	●	○	○	○	●	●
	DRPM	ドリペネム	*		○	○	○					
アミノグリコシド系	ABK	アルベカシリン		*			○	○	○			
	AMK	アミカシリン		*	●	●	●					
	GM	ゲンタマイシン		*	●	●	○	●	●	○		
	TOB	トブラマイシン		*	○	○	○					
テトラサイクリン系	MINO	ミノサイクリン	*	*	○	●	●	●	●	●	●	
マクロライド系	EM	エリスロマイシン	*	*				●	○	○	●	
	CAM	クラリスロマイシン	*									●
	AZM	アジスロマイシン	*					○	○	○	○	
リンコマイシン系	CLDM	クリンダマイシン	*	*			●	○	○	●	●	
グルコペプチド系	VCM	バンコマイシン	*	*			●	●	●	●	●	
キノロン系	TEIC	テイコプラニン		*			○	○	○	○	○	
	LVFX	レボフロキサシリン	*	*	●	●	●	○	○	○	○	
その他	CPFX	シプロフロキサシリン	*	*	●	●	○					○
	LZD	リネゾリド	*	*				○	●	●		
	FOM	ホスホマイシン	*	*	●	○	●	○	○	○		
	ST	スルファメトキサゾール/トリメトプリム	*	*	○	●	○	○	●	○	○	●
	RFP	リファンピシリン	*					○	○	○	○	○
	DAP	ダプトマイシン		*				○	●	○		
	MUP	ムピロシリン						○	○	○		
	QPR/DPR	キノプリステン/ダルホプリステン		*				○	○	○		
	GL	グリステチン	*	*	○	○	○					○
	CP	クロラムフェニコール	*	*				○	○	○	○	○
新セット薬剤数					12薬剤	10薬剤	12薬剤	10薬剤	8薬剤	8薬剤	10薬剤	10薬剤
パネル内薬剤数					25薬剤			30薬剤			19薬剤	17薬剤

- = 新「薬剤感受性基本セット」の選択薬剤
- = MIC法で検査可能(追加可能)な薬剤
- ※ = 感受性セットが変更となる対象菌
- ★ = MR-CNSは、MRSAにて実施いたします
- = 変更薬剤

◆ MR-CNS (※1) の菌種別薬剤感受性セット変更

(※1) MR-CNS (Methicillin-resistant Coagulase Negative Staphylococci  
: メチシリン耐性コアグララーゼ陰性ブドウ球菌)

対照菌種	変更箇所	変更後	変更前
MR-CNS	適応セット 名称	MRSA	G陽性球菌 (ブドウ球菌)
	対象薬剤	GM、MINO、VCM、TEIC、LZD、 ST、RFP、DAP	PCG、ABPC、CEZ、IPM、GM、MINO、 EM、CLDM、VCM、LVFX

備考：これまでMR-CNSの薬剤感受性検査につきましては、  
病体基本セットの「G陽性球菌(ブドウ球菌)セット」にて実施しておりますが、MR-CNS  
感染症では抗MRSA薬による治療を必要とする場合もあることから「MRSAセット」に  
変更いたします。

※ 詳細は「新薬剤感受性基本セット一覧(微量液体希釈法)」をご参照ください。

※ ディスク拡散法の薬剤変更はございません。

【報告菌名の追加について】

No.	菌名	コード	備考
1	<i>S.epidermids (CNS)</i>	110104	属名 (sp) から種名のご報告に変更いたします。
2	<i>S.saprophyticus (CNS)</i>	110105	
3	<i>S.lugdunensis (CNS)</i>	110106	
4	<i>S.epidermids (MR-CNS)</i>	110154	
5	<i>S.saprophyticus (MR-CNS)</i>	110155	
6	<i>S.lugdunensis (MR-CNS)</i>	110156	
7	<i>Escherichia hermannii</i>	140004	
8	<i>Enterobacter aerogenes</i>	140201	
9	<i>Enterobacter cloacae</i>	140202	
10	<i>Serratia marcescens</i>	140301	
11	<i>Serratia liquefaciens</i>	140302	
12	<i>Citrobacter koseri</i>	140502	
13	<i>Aeromonas hydrophila</i>	146202	
14	<i>Cryptococcus neoformans</i>	350301	

《変更日》 2018年1月 受付分より

※ ご不明な点は、当研究所営業担当者までお問い合わせ下さい。

以上